

関経連は、東日本大震災からの復旧・復興を全力で応援します。

関西経済レポート

関西の各種指標をみると、海外経済減速などの影響から足踏み状態が継続しているものの、一部で改善の動きが見られる。

輸出も厳しい状態が続くものの、アジア、米国向けを中心に改善の動きが見られる。

雇用・消費では、わずかに改善の動きが見られる。

先行きについては、円高の緩和・株高・経済対策の効果により、景気回復への期待が大きい。



2013年2月28日

関経連経済調査部

本レポート中の「近畿」「関西」の範囲は滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県の2府4県。

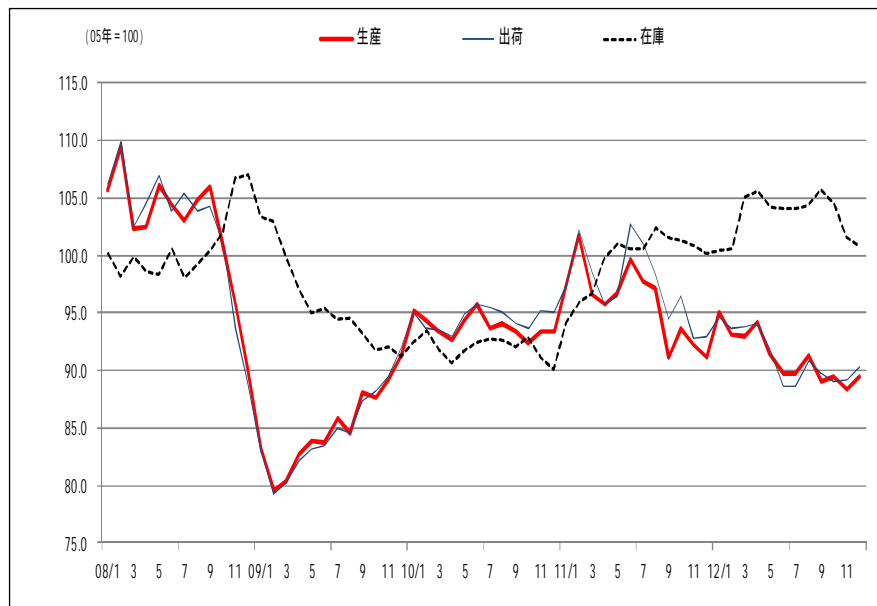
ただし鉱工業生産、大型小売店販売額については、福井県を含む2府5県。

~ 目次 ~

生産	・ ・ ・ ・ ・	1
輸出入	・ ・ ・ ・ ・	2
個人消費	・ ・ ・ ・ ・	3
雇用	・ ・ ・ ・ ・	4

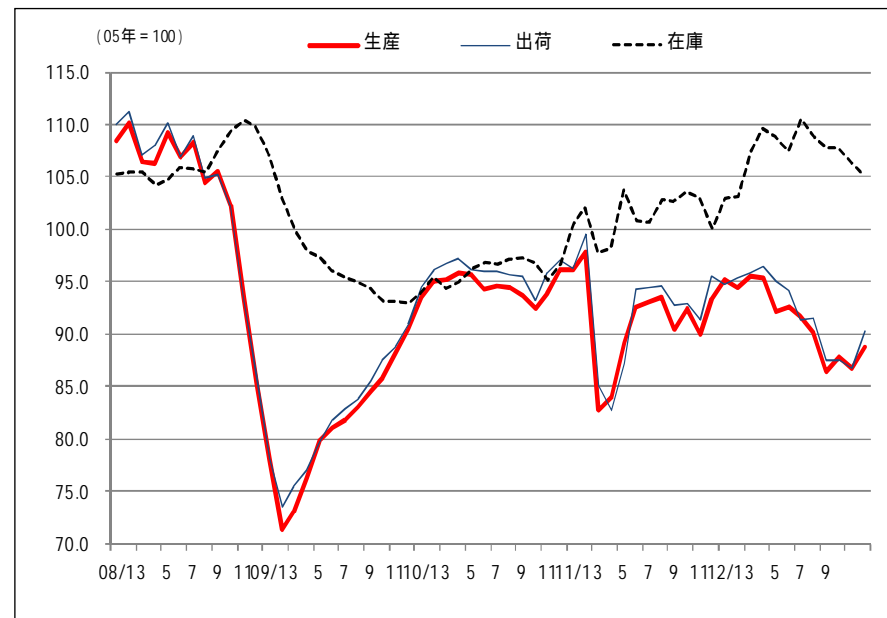
～ 生産 ～

鉱工業指数の推移（近畿 2012年12月確報まで）



（出所）近畿経済産業局

鉱工業指数の推移（全国 2012年12月確報まで）

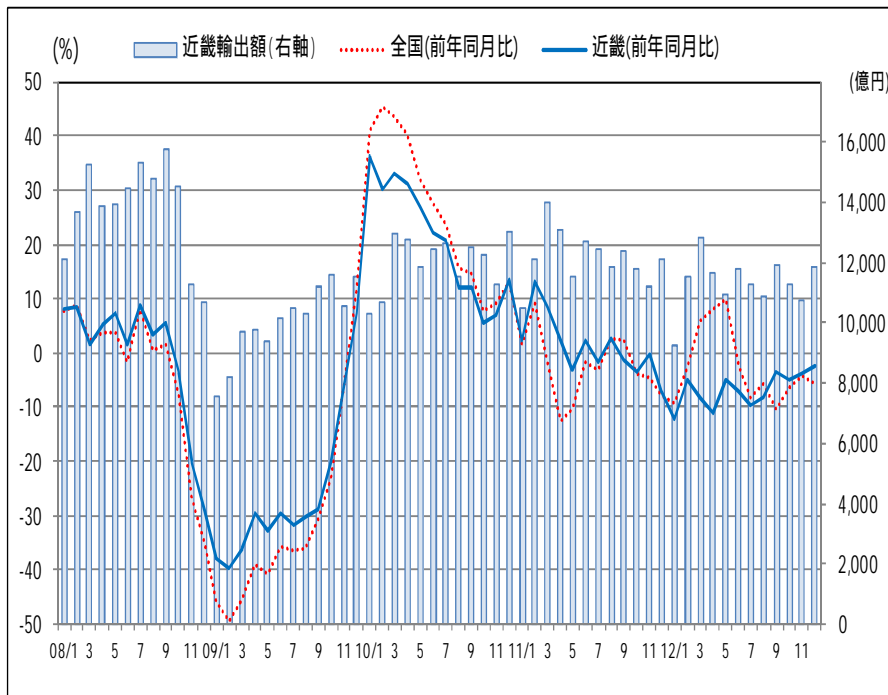


（出所）経済産業省

- ・ 近畿の12月（確報）の鉱工業生産指数は、89.4。前月比 +1.2%と2カ月ぶりの上昇。総じて見れば、生産は横ばい。
 出荷は前月比 +1.2%の90.3と、2カ月連続の上昇。在庫は、前月比 -0.7%の100.9と3カ月連続の低下。
 業種別にみると、化学工業(除.医薬品)、電気機械工業、プラスチック製品工業等の生産が上昇。
 品目別にみると、一般用蒸気タービン、半導体製造装置、アクティブ型液晶素子（大型）などが上昇に寄与。
- ・ 全国の12月（確報）の鉱工業生産指数は、88.8。前月比 +2.4%と2カ月ぶりの上昇。総じて見れば、横ばいの傾向。
 出荷は、前月比 +4.0%の90.3と4カ月ぶりの上昇。在庫は、前月比 -1.2%の105.1と5カ月連続の低下。
 業種別では、輸送機械工業、一般機械工業、化学工業等などが上昇に寄与。
 製造工業生産予測調査によると、1月、2月ともに上昇を予測している。

～ 輸出入 ～

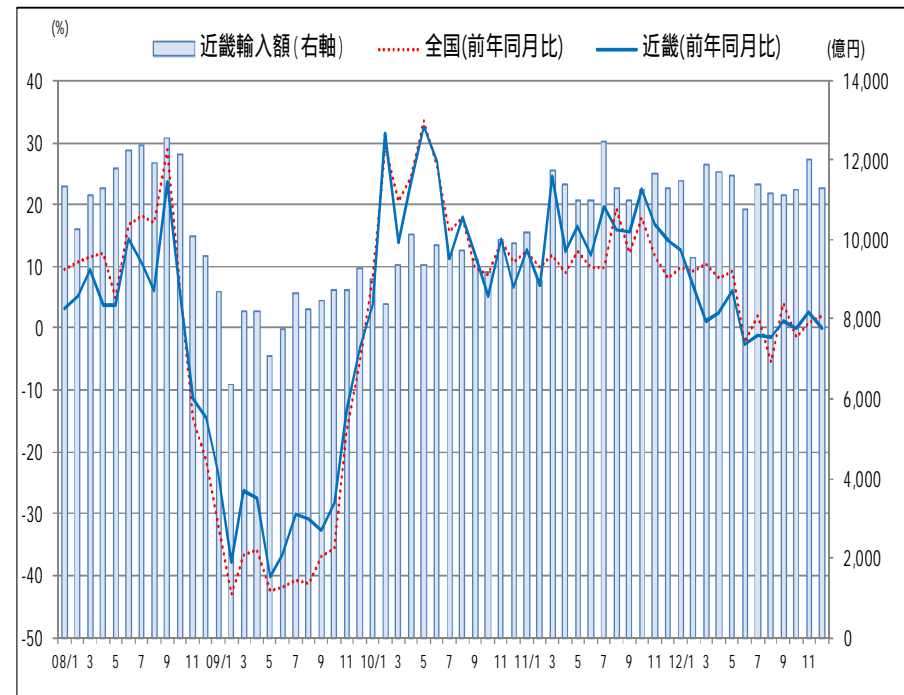
輸出金額・前年同月比増減率推移（2013年1月まで）



近畿の月次の輸出動向（2013年1月まで）

- 1月の近畿の輸出額は9,861億円、前年同月比+6.9%。
17カ月ぶりに前年同月比プラスに転じた。
- 原動機、船舶、科学光学機器等が増加。
- 地域別では、アジア向けが前年同月比+9.7%と2カ月ぶりのプラス。うち中国向けは同+7.0%と14カ月ぶりのプラス。EU向けは同+14.9%と18カ月連続のマイナス、米国向けは同+13.8%と3カ月ぶりのプラス。
- 全国の1月の輸出額は4兆7,992億円、前年同月比+6.4%。

輸入金額・前年同月比増減率推移（2013年1月まで）



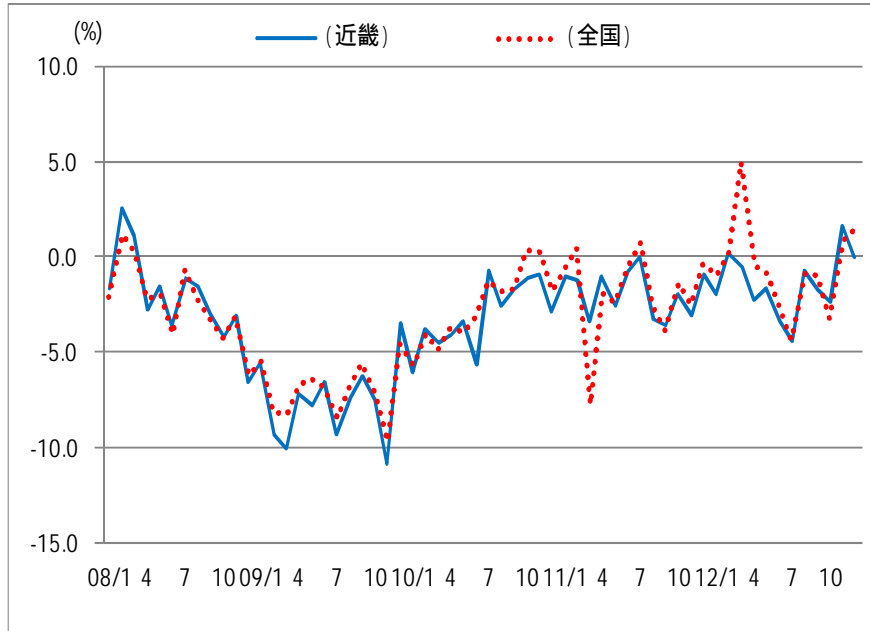
近畿の月次の輸入動向（2013年1月まで）

- 1月の近畿の輸入額は1兆2,195億円、前年同月比+6.3%と2カ月ぶりのプラス。
- 通信機、原油及び粗油、医薬品等が増加。
- 地域別では、対アジアが前年同月比+3.2%と2カ月ぶりのプラス。アジアのうち対中国が同+3.8%と2ヶ月ぶりのプラス。対米国が同+17.4%と2カ月連続のプラス。対EUは同+11.0%と3カ月ぶりのプラス。
- 全国の輸入額は6兆4,286億円、前年同月比+7.3%と3カ月連続のプラス。

出所：財務省税関(全国)、大阪税関(近畿)

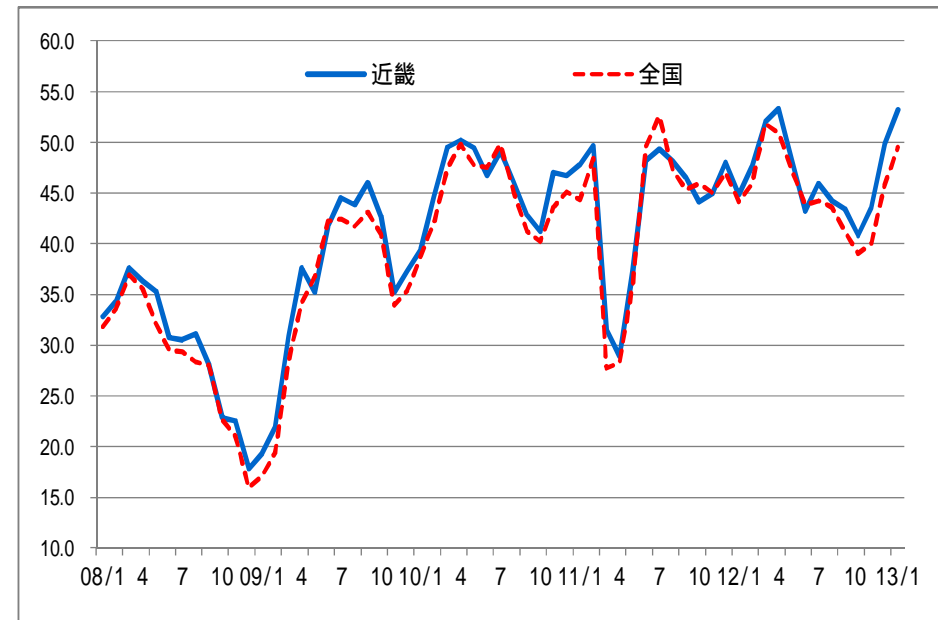
～ 個人消費 ～

大型小売店販売額（前年同月比・2012年12月まで）



（出所）近畿経済産業局

景気ウォッチャー調査(現状判断DI・方向性 2013年1月まで)



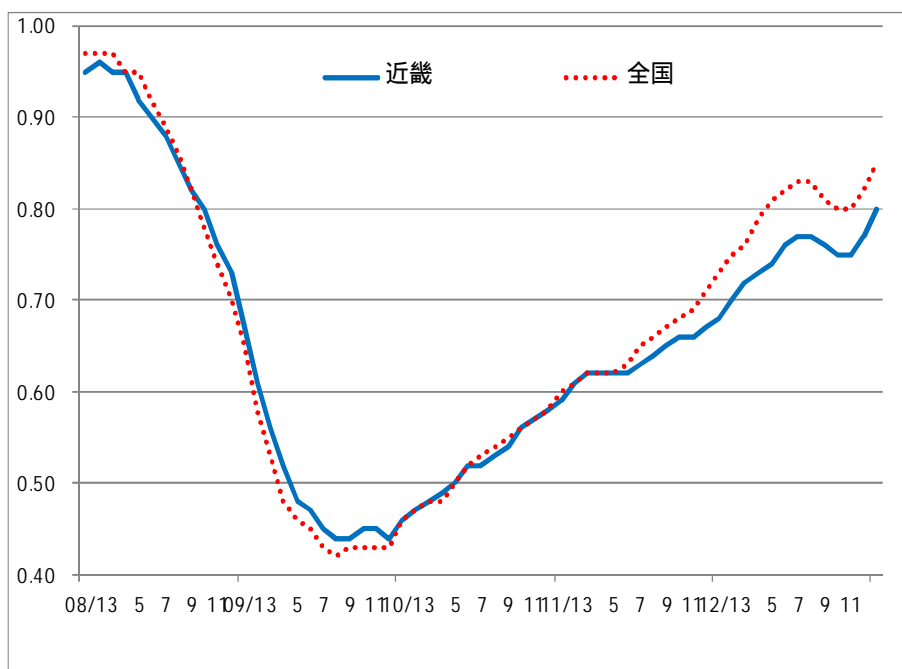
（出所）内閣府

- ・ 近畿の12月の大型小売店(百貨店 + スーパー)の販売額(既存店ベース)は、前年同月比 + 1.5%と2カ月連続のプラス。
- ・ スーパーは同 + 1.4%と49カ月連続のプラス。
- ・ 百貨店は同 + 1.7%と2カ月連続のプラス。
- ・ 一部店舗の増床・リニューアル効果に加え、気温の低下により防寒用品が好調であったことからプラスに。
- ・ 全国の12月の大型小売店販売額(既存店ベース)は同 + 0.0% 2カ月連続のプラス。

- ・ 1月の近畿の現状判断DIは前月比 + 3.4ポイントの53.2と、3カ月連続の上昇。
初売りなどが堅調に推移したことや、円安・株高から消費者の購買意欲が高まったことなどから上昇。
- ・ 全国の1月の現状判断DIは前月比 + 3.7ポイントの49.5。
- ・ 近畿の1月の先行き判断DIは前月比 + 7.4ポイントの59.3と4カ月連続の上昇。
- ・ 先行きは、引き続き、経済対策、円高の緩和・株高に対する期待から上昇
- ・ 全国の先行き判断DIは同 + 5.5ポイントの56.5。

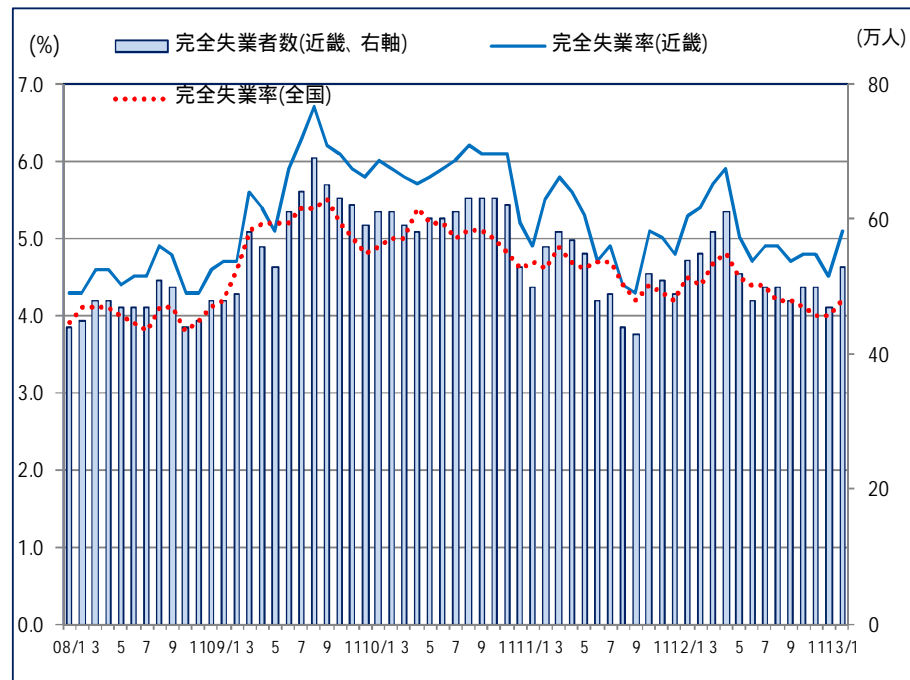
～ 雇用 ～

有効求人倍率の推移（季節調整値・2013年1月まで）



（出所）厚生労働省

完全失業率の推移（原数値・2013年1月まで）



（出所）総務省「労働調査」

地域別有効求人倍率2013年1月

	全国	北海道	東北	南関東	北関東	北陸	東海	近畿	中国	四国	九州
12月	0.82	0.64	0.93	0.83	0.79	0.93	0.94	0.77	0.93	0.86	0.67
1月	0.85	0.65	0.99	0.86	0.82	0.96	0.99	0.80	0.94	0.88	0.69

・2013年1月の近畿の有効求人倍率は0.80倍、前月から0.03ポイントの改善。

・全国は0.85倍で、前月から0.03ポイントの改善。

- ・1月の近畿の完全失業率（原数値）は5.1%。前月から0.6ポイントの悪化。
前年同月比では 0.2ポイント改善。
- ・わずかに改善の動きが見られる。。

- ・1月の全国の完全失業率（原数値）は4.2%、前月から0.2ポイントの悪化。
- ・1月の全国の完全失業率（季節調整値）は4.2%、前月から+0.1ポイントの悪化。